



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax25-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net



国の悪政から市民生活を守れ！

“子育て支援”に逆行 学童保育料減免の後退

定例会が2月22日～3月18日に開かれ、一般会計予算質疑を長谷田公子市議が、一般質問を北島元雄市議が行いました。新年度の一般会計予算は、総額739億円と前年比+0.5%の伸びとなりました。

市税・地方消費税増を見込み、地方交付税が8.5%減となるもの、市債発行は大幅減額等なっています。

保育所入所待ち52人

3月1日現在、保育所入所待ちちは52人です。他の保育所に空きがあっても、特定の保育所を希望する場合は待機児にはなりません。ですから統計上は、伊勢崎市の待機児はゼロです。

しかし、家や職場から遠い保育所では、通



長谷田公子市議

いけません。年齢によって入所できない場合もあるようです。保育士の体制充実に、もっと市の支援が必要です。「家庭や職場の近くに保育所整備を」と、求めました。

公設学童保育料減免削減 多子・母子世帯から悲鳴

昨年度は、無料の保育料が5千円になり、入所をあきらめる母子世帯も出ています。

公設クラブで削った分を民設クラブに回すと、非課税世帯は無料から半額に、兄弟半額免除は無くしたからです。

結局、市の持ち出し分は664万円も余ってしまいました。

「子育て支援に逆行する」と改善を強く求めました。その結果、多子・母子・低所得世帯への配慮の再検討を約束しました。

高齢者等住宅弱者の

住まいの安心確保を

これまでも市営住宅の募集で高齢者枠・単身者枠が少ないことを指摘、拡大を求め、改善が図られてきました。

しかし、保証人を頼める人がいなくて、公営住宅入所を諦める人が沢

山います。国は、「自治体の判断で、求めなくても良い。」としています。高齢者など住宅弱者へ配慮を要望しました。



空き家が目立つ市営住宅

小・中就学援助 収入認定の目安を示す

旧5市で一番低い受給率改善へ

小・中学生に学用品・給食・就学旅行費などを援助する就学援助制度について、申請基準を前橋市並みに広げるよう求めてきました。

教育委員会は、初めて申請要件や収入基準の目安などを記した案内を配布し、予算枠も1.4倍に広げました。

随時受け付けですから、希望する方は学校か教育委員会（☎27-2787）に気軽に問い合わせてください。

就学援助認定の目安

世帯人数	家族構成（参考例）	収入基準参考額
2人	父又は母、小学生	250万円程度
3人	父又は母、中学生、小学生	340万円程度
4人	父、母、中学生、小学生	403万円程度

※祖父母との同居、住居の状況、財産の所有状況等により認定されない場合もあります。児童扶養手当も収入に含めて審査します。